

1 事業所概要

- ▶ 住所 大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
- ▶ 従業員数 約1,800名 (内 クボタ従業員:約870名)
- ▶ 敷地面積 15,797m²



2 事業概要

- ▶ 事業内容 機械部門:農業関連商品を含む農業機械、エンジン、建設機械など
水・環境システム部門:パイプ関連製品、環境関連製品
社会インフラ部門:素形材、鋼管、自動販売機、電装機器、空調

▶ 主要製品

農業機械・エンジン・鉄管等



3 事業所変遷

明治 34年	南区北高岸町(現・浪速区敷津東)に「北高岸町工場」新設
明治 41年	南区北高岸町(現・浪速区敷津東)に「本店工場」新設
大正 7年	本店工場を「本工場」に改称
大正 15年	本工場を「船出町工場」に改称
昭和 20年	大阪大空襲により船出町工場焼失
昭和 23年	船出町工場を復興
昭和 35年	本社新社屋(現・本社第二ビル)竣工
昭和 43年	本社別館(現・本社第一別館)竣工
昭和 45年	体育館、健保会館竣工
昭和 48年	船出町工場廃止 本社第二別館竣工
昭和 52年	本社新館(現・本社ビル)竣工
平成 19年現在	(株)クボタ本社および関連会社17社のオフィス拠点

4 環境方針

クボタグループ環境基本行動指針

1. すべての企業活動における環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、製品開発・生産・販売・物流・サービスなど、企業活動のすべての段階で環境保全を推進します。
- (2) 私たちは、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。

2. 地球環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、地球温暖化の防止、循環型社会の形成、化学物質の管理を推進することにより、地球環境保全に貢献します。
- (2) 私たちは、環境問題の解決に資する技術と製品を開発し、社会に提供することにより、地球環境保全に貢献します。
- (3) 私たちは、自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。

3. 地域社会との共生を図る環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、環境リスクの低減に努め、環境汚染の未然防止など地域環境の保全に配慮した企業活動を推進します。
- (2) 私たちは、地域の環境美化・環境啓発活動に積極的に参画します。

4. 自主的、計画的な環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、環境マネジメントシステムを導入し、自主的・具体的な目標と行動計画を定めて、日常の業務を推進します。
- (2) 私たちは、環境に関する啓発・教育活動を推進し、環境意識の向上に努めます。
- (3) 私たちは、ステークホルダーに対して、積極的に環境情報を発信します。
- (4) 私たちは、環境コミュニケーションを通じてステークホルダーの意見を幅広く収集し、環境保全活動に反映します。

本社環境方針

1. 省エネルギーを推進し、CO₂排出量の削減、廃棄物の再利用・排出抑制・再資源化に取り組み、ゼロ・エミッションを目指します。
2. 環境関連法規制及び当事務所が同意するその他の要求事項を遵守し、維持します。
3. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2012年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO2の削減	CO2排出原単位	2008	▲10%	▲24.5%	◎	-
		CO2排出量	2008	▲10%	▲25.1%	◎	-
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2008	▲8%	▲34.7%	◎	-
	水資源の節約	水使用量原単位	2008	▲4%	28.1%	×	本社ビル中水設備老朽化のため運転中止(2009.7~)

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 ×:目標未達成

注)環境保全中期計画のCO2排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO2排出係数を使用しています。

6 環境会計

① 環境保全投資金額

2012年度: 0 万円

② 環境保全費用

2012年度: 1058 万円

廃棄物処理費用、緑化費用等

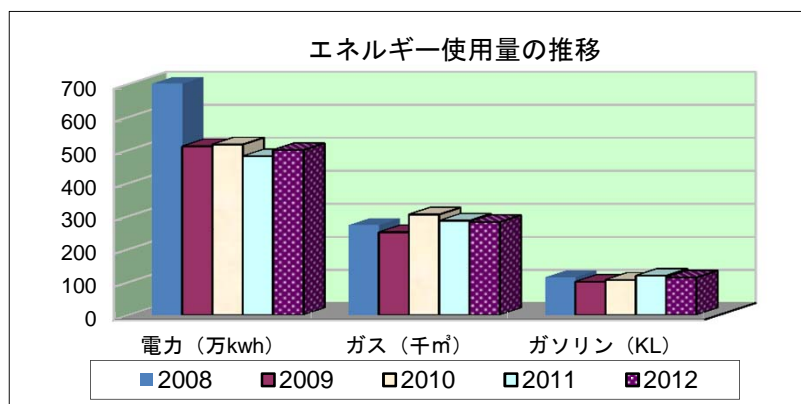
③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2011年度	2012年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	64,273	63,733	-540	99.2%
	水使用量(m ³)	46,943	41,367	-5,576	88.1%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	2,382	2,975	593	124.9%
	廃棄物排出量(t)	97.5	110.22	13	113.0%

7 環境パフォーマンス

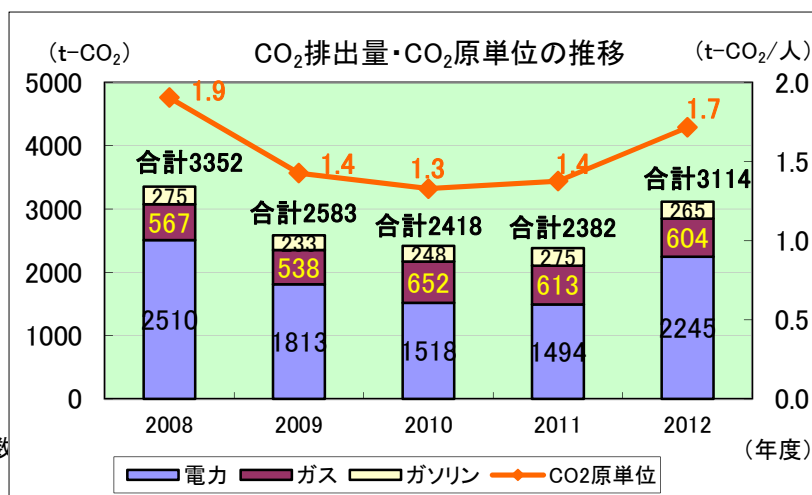
① 地球温暖化の防止

エコカーの導入、
エコドライブの推進
を実施しています。



CO₂排出量の削減

CO₂排出量を2008年度比
7.1%削減しました。

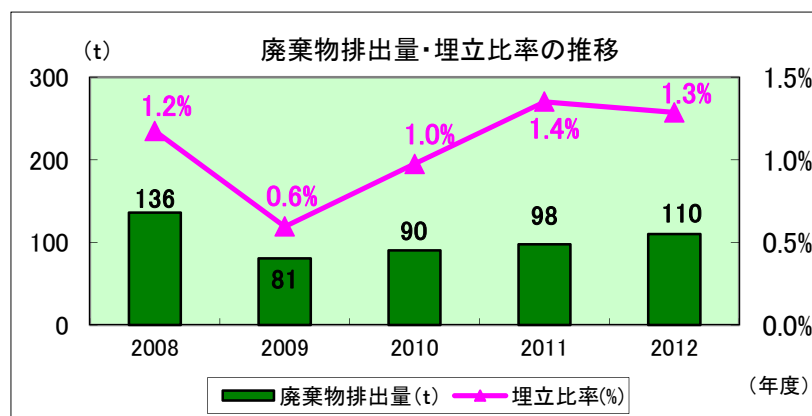


注: CO₂原単位=CO₂排出量÷従業員数

② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減 ゼロエミッション化

廃棄物排出量を2008年度比
23%削減しました。
今後も資源の有効利用に
努めます。



注: 埋立比率(%)=(直接埋立量+中間処理後最終埋立量)÷(有価物量+廃棄物排出量)

8 環境保全活動・啓発活動

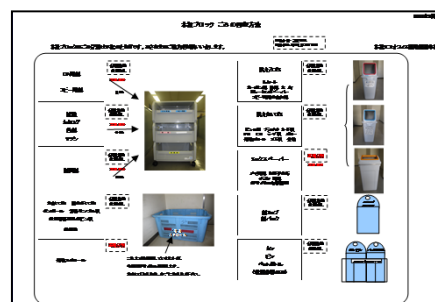
① エコオフィス運動

クボタ本社では2003年12月から「エコオフィス運動」をスタートさせ、今日まで継続的に実施しています。

主な活動内容	主な推進内容
温室効果ガスの削減	不要な照明、OA機器の電源OFF
省エネルギー	こまめな空調温度管理の実施
一般廃棄物の削減	分別回収とリサイクルの徹底
	紙ごみの削減とリサイクルの徹底
グリーン購入の促進	グリーン商品の優先購入(べんりねっとの導入)



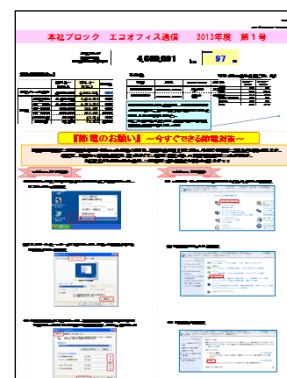
ソロエルアリーナ画面



分別状況

② 啓発活動

環境教育・啓発活動の一環として、「本社ブロック・エコオフィス通信」を4半期に1回配布しています。



本社・エコオフィス通信

③ エコ活動についての取り組み

平成25年度は本社事業所にて打ち水風景を実施しました。



打ち水風景

9 サイトデータ

▶ INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	1,644
----------	---------	-------

水使用量	万m ³	4.1
------	-----------------	-----

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,975
---------------------	-------------------	-------

廃棄物排出量	t	110
埋立比率	%	1.29